

環境活動レポート

平成 18 年 11 月 10 日



エコアクション21

長野県箕輪町役場

箕輪町役場は全国の市町村で初めて エコアクション21の認証を取得しました。



エコアクション21

取組意図

環境保全が地球規模でも重大な取組事項となっている今、箕輪町でも環境について積極的に取り組んでいく必要があります。箕輪町は人と自然の共生をめざし、環境活動に取り組めます。

箕輪町では平成18年3月「エコアクション21」の認証を取得し、環境活動を進めていきます。

エコアクション21とは

エコアクション21認証・登録制度は、広範な中小企業、学校、公共機関などに対して、「環境への取組を効果的・効率的に行うシステムを構築・運用・維持し、環境への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価し、報告する」ための方法として、環境省が策定したエコアクション21ガイドラインに基づく、事業者のための認証・登録制度です。国際標準化機構のISO14001規格をベースとしつつ、環境経営システムのあり方をガイドラインとして規定しています。

エコアクション21に取り組むメリット

- ・ 環境にやさしいまちづくりのシンボルになる。
- ・ 職員の意識向上につながる。
- ・ 環境活動を通じてコスト削減も実現できる。

認証取得までの経過

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ・ 平成17年 1月31日 | キックオフ大会（職員向け研修会を実施） |
| ・ 平成17年 2月 1日～ | 取組開始 |
| ・ 平成17年10月13日 | 予備審査実施 |
| ・ 平成17年12月20日～22日 | 現地審査実施 |
| ・ 平成18年 3月 6日 | 認証取得 |

箕輪町は社会環境に配慮する活動を行っています。

廃食油リサイクル事業

各家庭や学校給食で出された廃食油をバイオディーゼル燃料（BDF）にリサイクルし、町内を巡回するバス「みのちゃんバス」に使用することで、地球温暖化防止と循環型社会の実現を目指しています。

月1回の資源回収日に町内の資源回収ステーションにポリタンクを設置し、廃食油を回収します。回収された廃食油は町の知的障害者等通所施設「共同作業の家」にある精製プラントで燃料化処理し、町内を巡回するバス2台（みのちゃんバス）と廃食油回収車の燃料の一部に充てられています。

生ごみ堆肥化リサイクル事業

学校給食などで出される生ごみ。以前は焼却処分を行っていました。しかし箕輪町では廃棄物の削減と二酸化炭素排出量の削減のため、業者に委託し、生ごみを堆肥化しリサイクルします。

平成18年4月から町内の3施設で試験的に実施していましたが、11月からは町内のほとんどの小中学校、保育園で実施します。

処分費用も以前の焼却処分では1kgあたり約40円かかっていましたが、堆肥化した場合は1kgあたり約29円となり、環境保全と併せてコストの削減も実現しています。

小学校、保育園における環境教育

箕輪町内の全小学校で環境教育が行われています。校内での節電、雨水利用、登下校中の空き缶拾いなどの身近な活動で地球温暖化防止に努めています。

箕輪中部小学校の環境・省エネ委員会では子どもたちが休み時間に省エネパトロールを行い、無駄な照明の点灯などがないかなどチェックしています。箕輪中部小学校は平成18年9月20日に「長野県環境保全協会・第8回信州エコ大賞奨励賞」を受賞しました。

箕輪西小学校ではプリンターの使用済みカートリッジインクを回収する活動を進めています。回収したカートリッジはベルマーク運動の対象となり、学校の備品購入にもつながります。平成18年11月には箕輪町役場の玄関にも回収ボックスを設置しました。

箕輪北小学校、箕輪南小学校、箕輪東小学校でも伐採された木材を加工したり、花を栽培したりするなど積極的な環境活動を行っています。また三洋電機（株）から町内の全小学校に充電式電池エネルギーの寄贈があり、電池の再利用と廃棄物の削減につながっています。

町内の保育園では園児たちが絵を描く紙に裏紙を使用しています。ちょっとした心がけが積み重なれば大きな環境活動につながります。

地球温暖化防止フォーラムの開催

箕輪町では「温暖化を防ぐために、私たちが今すぐにできることは？」をテーマに「地球温暖化防止フォーラム2006インみのわ」を平成18年10月9日に箕輪町文化センターで開催しました。気象予報士の村山貢司さんの地球温暖化に関する講演のほか、長野県地球温暖化防止活動推進員の宮原則子さんによる「家計にやさしい省エネ対策」実践講座がありました。

当日はBDFを使用した「みのちゃんバス」の特別運行のほか、箕輪町消費者の会による古い傘をリサイクルした買い物袋の販売もありました。

役場庁舎での環境活動

機密文書リサイクル事業

役場で出される機密文書。今まではシュレッダー処理を行うなどして、焼却処分をしていました。箕輪町役場ではこの機密文書をリサイクル業者に委託し、役場職員の立会いのもと、リサイクル可能な破砕処理を行い資源として有効活用します。破砕処理機械を搭載した大型トラックが役場庁舎に直接来庁する方式のため、機密文書の個人情報を守られると同時に回収費用や職員の手間が大幅に削減されます。

目標管理制度と環境配慮

箕輪町役場では職員を対象に年間業務の目標を立て、評価を行う目標管理制度を実施しています。この目標管理制度の中に推奨事項としてエコアクション21の活動を取り入れています。

また朝礼時に「箕輪町環境方針」の確認を行い、職員一人一人が「私の環境目標」を設定するなど職員への環境教育も行っています。

予算説明会の際、環境への配慮がコスト削減につながるいくつかの例について事例発表を行いました。

裏紙回収ボックスの設置

箕輪町役場では裏紙使用の推進を図るため、印刷室のコピー機やプリンター横に裏紙回収ボックスを設置しています。

コピー機や印刷機横には「ミスコピーに注意」「両面印刷の活用」などの掲示を行っています。

公用封筒の古紙100%への切り替え

役場で使用する封筒は町民の皆さんへの通知や他の自治体への連絡をする際に大変重要なものです。以前は古紙70%配合のカラー封筒を利用していましたが、平成16年から古紙100%使用のクラフト封筒に切り替えました。クラフト封筒に切り替えることで内部の文書が透けにくだけでなくコスト削減も実現しています。

エコアクション21認証取得後は封筒の表にロゴマークを印刷し、町民の皆さんや他の自治体へ環境への配慮をアピールしています。

消耗品の環境対応商品への切り替え

役場で使用するボールペン。以前は金属とラバーを使用したものを購入していましたが。現在はリサイクルプラスチック材を使用したエコマーク認定商品を購入しています。

また宛名ラベルシールも以前は再生紙を使用していないものを購入していましたが、同じメーカー、同じサイズで再生紙を100%使用したものに切り替えました。

ボールペン、宛名ラベルシールとも大量購入をすることで従来品よりも安い価格で購入しています。

リサイクルトナーの活用

箕輪町役場で使用するレーザープリンターのトナーはリサイクルトナーを使用しています。

レーザープリンターのランニングコストを大幅に削減し、地球環境に貢献します。

選挙でもリサイクル

選挙で使用する候補者掲示板を選挙後にリサイクル処理しています。投票箱も古紙を使用したものを採用しています。

ハイブリッド車の活用

箕輪町役場では平成11年にハイブリッド車「プリウス」を導入しました。

電気とガソリンを併用して走行します。アイドリングストップも自動で行います。

箕輪町交通安全協会の安全啓発活動や箕輪町の子どもたちを守る防犯パトロール活動に利用されています。

環境への取り組みを町全体へ広めていくために

エコアクション21自治体イニシャティブ・プログラム

エコアクション21認証・登録制度の実施の一環として、自治体のイニシアティブのもと、地域内の多くの事業者が一斉にエコアクション21に取り組むことにより、地域全体の二酸化炭素、廃棄物などの排出削減、エネルギーコストなどの削減を実現していきます。

箕輪町では11社の参加希望があり、平成18年9月27日にキックオフ大会を実施しました。現在、12社が参加しており、平成19年6月頃の認証取得を目指しています。

箕輪町の概要

箕輪町は南アルプスと中央アルプスに抱かれた長野県伊那谷の北部に位置する田園工業都市として発展している町です。

昭和 30 年に三町村が合併して「箕輪町」が発足し、人口は増加の一途を辿り平成 15 年 5 月には 2 万 6 千人を超えました。

また近年では首都圏を中心とした先進開発型企業の進出が活発となり、産業分野の先端技術が集結し、ハイテクタウンへと変貌しています。平成 15 年度には工業製造品出荷額は 1,400 億円を超え県内町村で 5 番目の出荷額を示しています。

21 世紀に向け、農商工の調和と住む人々が主役のまちづくりを基本に、夢とロマンあふれる未来型環境の整備を創造している町です。

町 長 平澤豊満

人 口 26,337 人 (2 0 0 6 年 1 1 月 1 日現在)

予算額 7,471,000 千円

役場所在地 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10298 番地

役場業務内容 役場庁舎には総務課、経営企画課、税務課、収納対策室、住民環境課、保健福祉課、産業振興課、建設水道課、会計課、議会事務局、箕輪町土地開発公社事務局があり (2006 年 10 月現在) 関係する事務を執り行っています。

役場職員数 161 名 (2006 年、役場庁舎)

役場庁舎敷地面積 5 , 1 9 3 m²

環境管理責任者 助 役 桑沢昭一

環境管理事務局 総務課総務係 唐沢智大

連 絡 先 電話 0265 - 79 - 3111
Fax 0265 - 79 - 0230

1 環境方針

《基本理念》

箕輪町は中央アルプス・南アルプスを望み、豊かな水と緑に恵まれた町です。この豊かな自然は先祖から私たちが受け継いできた大切な財産です。

しかし経済活動の発展とライフスタイルの変化の代償として身近な環境問題はもとより、地球温暖化やオゾン層の破壊など、非常に広範囲・長期間にわたって地球環境に影響を与え将来の世代に深刻な影響を及ぼすおそれのある問題が生じてきました。

私たちはあらためて自然のもたらす恵みに深く思いを巡らすとともに、環境が、大気、水、土壌など自然系の均衡と循環から成り立っていることを認識し直さなくてはなりません。

箕輪町は人と自然とが共生できる社会の構築を目指します。

《行動指針》

1. 業務活動における省資源・省エネルギーを実践し、電気・石油・水・紙の使用量を減ずることに努めます。
2. また、リサイクルやグリーン購入を積極的に行い、廃棄物の排出量を減ずることに努めます。
3. 環境関連の法令及びその他の要求事項を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。
4. 箕輪町環境基本計画に基づいて、環境にやさしい社会を実現するための施策を推進します。
5. 環境目標、環境活動計画を定め、かつそれを定期的に見直すことにより継続的な環境改善や汚染の防止に努めます。

平成 17 年 1 月 20 日

箕輪町長

2 環境目標

目標1 二酸化炭素排出量の削減

単年度目標 平成17年度役場庁舎の二酸化炭素排出量を平成16年度排出量と比較して2%減らします。

長期目標 平成18年度役場庁舎の二酸化炭素排出量を平成15年度排出量と比較して6%減らします。

目標2 廃棄物排出量の削減

単年度目標 平成17年度役場関連庁舎の廃棄物排出量を平成16年度排出量と比較して2%減らします。

長期目標 平成18年度役場関連庁舎の廃棄物排出量を平成15年度排出量と比較して6%減らします。

役場関連庁舎 役場庁舎、文化センター、郷土博物館、消防署、福祉センター、東部診療所、若草園、ゆとり荘、中学校、中部小学校、北小学校、東小学校、南小学校、西小学校、松島保育園、木下北保育園、木下南保育園、長田保育園、沢保育園、上古田保育園、おごち保育園、長岡保育園、三日町保育園の全23箇所

目標3 総排水量の削減

単年度目標 平成17年度役場庁舎の総排水量を平成16年度排水量と比較して2%減らします。

長期目標 平成18年度役場庁舎の総排水量を平成15年度排水量と比較して6%減らします。

目標4 印刷用紙購入量の削減

単年度目標 平成17年度役場庁舎の印刷用紙購入量を平成16年度購入量と比較して2%減らします。

長期目標 平成18年度役場庁舎の印刷用紙購入量を平成15年度購入量と比較して6%減らします。

第1表 単年度および長期の環境目標

	平成15年度 (実績値)	平成16年度 (実績値)	平成17年度 (目標値)	平成18年度 (目標値)
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	216,716.9	253,574.3	248,502.8	203,713.9
廃棄物排出量(t)	122.53	146.9	144.0	115.18
総排水量(m ³)	3,589	1,511.0	1,480.8	3,373
印刷用紙購入量(kg)	10,835	12,211.1	11,966.9	10,184

3 主要な環境活動計画の内容

【各課共通計画】

目標 1 二酸化炭素排出量の削減（毎年前年度比で 2%減少させ、平成 15 年度比で平成 18 年度までに 6%減少させます。）

電気、ガス等の燃料の使用量削減は二酸化炭素の排出抑制に直結します。また、公用車を適正に使用することで無駄なエネルギーを使用しなくなります。より一層の省エネルギー対策に努めます。

二酸化炭素排出量の削減への具体的取組み

昼休み、退庁時には消灯を徹底する。
残業時は、照明の点灯は必要最小限度にする。
トイレ・給湯室等の照明は退室時に消灯する。（1Fトイレは除く）
階段の利用を促進する。
冷暖房温度設定を適正化する。（夏 28 、冬 20 ）
蛍光灯本数、点灯個所を削減する。
省電力型照明器具へ更新する。
敷地内照明（街灯の点灯等）を削減（時間短縮、間引き点灯）する。
省エネ型機器（OA、電気製品等）の選定、更新を行う。
OA機器の節電・待機モードへの切り替えを徹底する。
長時間の離席や不在の時はパソコンの電源を切る。
熱源機器の適正な運転管理を行う。
ブラインドを活用する。
気温に適した服装を奨励する。
定時退庁日を徹底する。（ノー残業デー及び残業以外の居残りの禁止）
電気ポット、コーヒーメーカーなどの加熱器の使用を自粛する。
エネルギー使用量の把握及び管理を行う。
公共施設に太陽光等自然エネルギーを利用した設備の導入を検討する。
アイドリングストップを徹底する。
公共交通機関を優先的に利用する。
相乗りを励行する。
急発進・急加速を抑制する。
車両整備（タイヤ空気圧調整等）を適正に実施する。
走行量、使用量の把握・管理を行う。
走行ルート of 合理化を検討する。
庁用車を新たに購入または借り上げする場合には、低公害車を導入する。
低公害車の導入が困難な場合には、排気量、積載量など必要最小限とし、低燃費など可能な限り環境負荷の少ない車を選択する。

目標 2 廃棄物排出量の削減（毎年前年度比で 2%減少させ、平成 15 年度比で平成 18 年度までに 6%減少させます。）

廃棄物の削減は、焼却時におけるダイオキシン類や窒素酸化物などの大気汚染物質の発生抑制とともに二酸化炭素排出量の抑制のためとても重要な取組みです。廃棄物を削減するために、「発生抑制（リデュース）」「再使用（リユース）」「再生利用（リサイクル）」に努めます。

廃棄物排出量の削減への具体的取組み

使用済み用紙の裏面使用を図る。
物品の購入に際しては、可能な限り詰め替え可能な製品を選ぶ。
包装梱包材の簡素化の製品を選ぶ。
購入した物品の長期使用に心がける。
不要品を廃棄する前に、他の活用方法等を検討する。
業者等が配布するチラシ等は、必要のないものは受け取らない。
持ち込んだ新聞、雑誌類は持ち帰る。
生ごみは、しっかりと水気を切ってから出す。
使い捨て容器を使用している弁当などの飲食品の購入を避ける。
可能な限り施設利用者にごみの持ち帰りを呼びかける。
分別回収ボックスを事務室内に適切に配置し、個人ごみ箱を減らす。
びん、缶、ペットボトル、古紙のリサイクル回収を徹底する。
コピー機、プリンター等のトナーカートリッジのリサイクルを進める。

目標 3 総排水量の削減（毎年前年度比で 2%減少させ、平成 15 年度比で平成 18 年度までに 6%減少させます。）

総排水量を削減することは上水道の使用量削減に等しく、上水道の使用量削減は浄水場のエネルギー削減、下水処理施設でのエネルギー削減につながり、省エネルギー、二酸化炭素排出削減のため重要な取組みです。

総排水量の削減への具体的取組み

節水器具によりトイレ洗浄水を節約する。
水道の蛇口に節水コマを取付ける。
雨水利用設備の導入を検討する。
トイレに擬音装置を採用する。
機器の導入時には節水を考慮する。
定期的に漏水の点検をする。
水使用量の把握及び管理を行う。
公用車の洗車方法の見直しを行う。（回数、バケツ利用等）

目標 4 印刷用紙購入量の削減（毎年前年度比で 2%減少させ、平成 15 年度比で平成 18 年度までに 6%減少させます。）

印刷用紙の購入量削減は、木の伐採抑制につながり、地球温暖化防止の重要な取り組みです。

印刷用紙購入量の削減への具体的取組み

コピー・印刷用紙の購入時は古紙配合率 70～100%、白色度 70～80%以下の再生紙購入に努める。
両面コピー、両面印刷の徹底と、縮小機能の活用に努める。
庁内資料等は、使用済み用紙（ミスプリント等）の裏面を活用する。
コピー機やプリンターの周辺にミスプリントの回収箱を設置する。
会議資料のワンペーパー化（1案件1枚化）に努める。
文書は可能な限り回覧または掲示する。
文書は私物化せず、ファイリングにより共有化する。
ミスプリントをなくすため、コピー機は使用后必ずリセットする。
庁内に配布する印刷物等は、電子掲示板やメールを活用し、印刷量の削減に努める。
資料、印刷物等を作成するときは、ページ数や部数を必要最小限とする。
印刷物は配布残数を把握し、次の印刷物作成時には残数分を減らす。

【事業・施策における環境活動計画】

【公共事業・工事】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
設計開発（都市計画、個々の設計）	開発行為の申請時において国の方針に従い、自然環境に配慮した工法で設計・施工を指導していく。	建設水道課
リサイクル材使用	公共事業・工事においてリサイクル材の使用を推進する。	
重機の使用（負荷低減、周辺住民配慮）	発注時に特記仕様書で排ガス対策型重機を使用することを明示する。	
廃材処理（分別解体等）	工事完成時にマニフェスト等で処分結果を確認する。	

【廃棄物処理】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
給食生ごみ堆肥化事業	小中学校や保育園から出る生ごみを焼却処分せず収集業者により、堆肥としてリサイクル活用する。4 月から 3 施設で試験的に実施。 (平成 18 年度目標) 町内 13 施設で実施。	住民環境課
BDF 事業	家庭や学校から出る廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料 (BDF) を精製。バス 2 台と廃食油回収トラックに使用する。 (平成 18 年度目標) 回収量 10,000 リットル 精製量 6,000 リットル	

【水処理】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
公共下水道整備 浄化槽設置状況 終末処理 農業用水処理	公共下水道・農業集落廃水処理施設・浄化槽等の事業により、早期の全町水洗化と公共用水域の水質改善に取り組む。	建設水道課

【農業】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
畜産環境整備事業 (補助金)	畜産経営に起因する環境汚染等を防止し、家畜の飼育環境の整備を図る。	産業振興課
「エコファーマー」の育成事業	エコファーマー認証取得者の育成。	
環境負荷軽減技術導入促進事業 (補助金)	水稻種子の消毒に農薬でなく温水を使用する温湯種子消毒機を導入する。	
堆肥銀行事業	自然にやさしい循環型農業を目指し、土作り事業に堆肥銀行の堆肥使用を働きかける。 (平成 18 年度目標) 400 トン	
家畜畜舎環境巡視事業	家畜畜舎の環境巡視を行い、ハエ等の発生防止のための畜舎消毒や衛生的な環境を作るよう指導する。	

【環境基本計画】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
新エネルギービジョン	平成 16 年度策定。利用可能な新エネルギー量の推定と活用の基本的方向を定める。 (平成 18 年度目標) B D F 精製事業開始と運用 小中学校での新エネルギー教室 住民を対象にした新エネルギー講演会	住民環境課

【地域環境の保全】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
森林整備事業(補助金)	町内の森林の保全として間伐を推進し、県の補助金に町で上乘せ補助を行い、健全な森林の保全を図る。	産業振興課
森林整備地域活動支援交付金事業(補助金)	町内の各種団体に森林保全に対する規定の作業を実施したことに対して、10,000 円 / h a の補助をする。	
緑化啓発苗木配布事業	緑化木の配布を行い町の環境の整備を推進する。	
河川等の水質保全	町内の河川水質に関する定点観測を行う。	住民環境課

【環境教育(小中学校)】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
環境教育(公立小中学校等)	小中学校等での環境教育の推進	小中学校等

【環境コミュニケーション】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
広報誌やインターネットホームページへの掲載	町広報誌への「環境サブリ」コラムの掲載。 町ホームページにごみ等に関するページを引き続き掲載していく。	住民環境課
住民との連絡協力	廃棄物やエネルギー等に関する会議・行事等に対して回覧等を使用した広報活動を行う。	

【エコアクション 2 1 イニシャティブ・プログラム】

項目	平成 18 年度の目標	担当課
エコアクション 21 自治体イニシャティブ・プログラム	エコアクション 2 1 自治体イニシャティブ・プログラムを用い町内企業に取り組んでもらう。	産業振興課

4 環境活動の取組結果及びその評価

平成 18 年 11 月 7 日に「エコアクション 2.1 環境委員会」を開催し、平成 16 年度と平成 17 年度、また平成 18 年 4 月～9 月までの取組状況の確認と、その評価を行いました。また町長、環境管理責任者による全体の評価と見直しを行いました。

(1) 取組結果及び評価

【数値による実績】

前年度比 2%以上減少（目標）した項目を A、前年度比 0～2%減少した項目を B、前年度比増加した項目を C と評価しました。

【平成 16 年度と平成 17 年度の比較】

	平成 16 年度	平成 17 年度	前年度比	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	253,574.3	248,171.8	2.13%減少	A
廃棄物排出量(t)	146.9	100.3	31.7%減少	A
総排水量(m ³)	1,511.0	1,412.0	6.5%減少	A
印刷用紙購入量(kg)	9,423.5	12,211.1	29.6%増加	C

【平成 17 年上半期と平成 18 年上半期における比較】

	平成 17 年 4 月 9 月	平成 18 年 4 月 9 月	平成 17 年上半期と 平成 18 年上半期の 比	評価
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	106,370.8	113,456.6	6.7%増加	C
廃棄物排出量(t)	44.0	57.0	29.5%増加	C
総排水量(m ³)	729.0	729.0	0%減少	B
印刷用紙購入量(kg)	5,232.1	4,730.3	9.6%減少	A

平成 16 年度と平成 17 年度を比較すると、環境目標 4 項目のうち、達成項目 3、未達成項目 1 でした。

平成 17 年度上半期と平成 18 年度上半期を比較すると、達成項目 1、未達成項目 3 でした。

【事業における取組実績】

平成 18 年度における事業・施策の環境活動計画について、その評価（進捗状況チェック）を行いました。

【公共事業・工事】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
設計開発（都市計画、個々の設計）	開発行為の申請時において国の方針に従い、自然環境に配慮した工法で設計・施工を指導していく。	河川護岸設計において、国の方針に従い、自然環境に配慮した工法で設計、施工を実施している。	B
リサイクル材使用	公共事業・工事においてリサイクル材の使用を推進する。	設計書作成においては、再生砕石・再生アスファルト合材を使用。 施工業者に対しては、発注時の現場特記仕様書で明示し、施工時協議で再生材使用についてのチェックを実施。	B
重機の使用（負荷低減、周辺住民配慮）	発注時に特記仕様書で排ガス対策型重機を使用することを明示する。	発注時に特記仕様書で排ガス対策型重機を使用することを明示。 現場及びしゅん工書類添付写真で確認している。	B
廃材処理（分別解体等）	工事完成時にマニフェスト等で処分結果を確認する。	発注時に特記仕様書で発生廃材の処分量・単価・処分先を明示。 工事完成時にマニフェスト等で処分結果を確認している。	B

【廃棄物処理】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
給食生ごみ堆肥化事業	<p>小中学校や保育園から出る生ごみを焼却処分せず収集業者により、堆肥としてリサイクル活用する。4 月から 3 施設で試験的に実施。</p> <p>(平成 18 年度目標) 町内 13 施設で実施。</p>	<p>平成 18 年 4 月～3 施設で試験的に実施。</p> <p>11 月から町内 13 施設で実施していく。</p> <p>〔参考〕処分料 (従来・伊那清掃センター) 約 40 円 / k g (11 月～・堆肥化リサイクル) 約 29 円 / k g</p>	B
BDF 事業	<p>家庭や学校から出る廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料 (BDF) を精製。バス 2 台と廃食油回収トラックに使用する。</p> <p>(平成 18 年度目標) 回収量 10,000 リットル 精製量 6,000 リットル</p>	<p>4 月～9 月までの回収量 4,565 リットル</p>	B

【水処理】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
公共下水道整備	公共下水道・農業集落 廃水処理施設・浄化槽 等の事業により、早期 の全町水洗化と公共 用水域の水質改善に 取り組む。	平成 18 年 4 月 1 日現在、計画 区域内人口 22,000 人のうち供 用開始区域内人口 14,435 人で あり、普及率は 65.6%である。 水洗化人口は 9,932 人であり、 水洗化率は 68.8%である。面整 備が急激にすすみ供用開始地区 内人口が増加しており、水洗化 人口も増加中である。	B
浄化槽設置状況		平成 18 年 4 月 1 日現在、浄化 槽数は 570 基である。下水道の 普及とともにエリア内の浄化槽 が減少してきている。またエリ ア外についても徐々に合併浄化 槽が増加している。	
終末処理		処理量の急増に伴い、現在処理 場の増設をしており、これが 19 年度に完成し、これまでどおり 適正な処理を行う。 放流水については、基準をクリ アしている。	
農業用水処理		現在面整備はすべて終了し、処 理区域内人口は 6,617 人であ る。水洗化人口は 4,641 人であ り、水洗化率は 70.1%で今後さ らに増加していく。 処理場については、これまでど おり適正な処理を行う。なお放 流水については基準をクリアし ている。	

【農業】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
畜産環境整備事業 (補助金)	畜産経営に起因する 環境汚染等を防止し、 家畜の飼育環境の整 備を図る。	10 頭以上飼育している畜産農 家 16 戸すべて完了。	A
「エコファーマー」 の育成事業	エコファーマー認証 取得者の育成。	エコファーマー認証取得者研修 会に 12 名参加している。	B
環境負荷軽減技術 導入促進事業(補助 金)	水稻種子の消毒に農 薬でなく温水を使用 する温湯種子消毒機 を導入する。	温湯種子消毒機導入に対して補 助し稼動。	A
堆肥銀行事業	自然にやさしい循環 型農業を目指し、土作 り事業に堆肥銀行の 堆肥使用を働きかけ る。 (平成 18 年度目標) 400 トン	事業実施中。	B
家畜畜舎環境巡視 事業	家畜畜舎の環境巡視 を行い、ハエ等の発生 防止のための畜舎消 毒や衛生的な環境を 作るよう指導する。	畜舎消毒 4 回、巡視 2 回実施	B

【環境基本計画】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
新エネルギービジ ョン	平成 16 年度策定。利 用可能な新エネルギ ー量の推定と活用の 基本的方向を定める。 (平成 18 年度目標) B D F 精製事業開 始と運用 小中学校での新エ ネルギー教室 住民を対象にした 新エネルギー講演 会	B D F 事業 4 月～9 月までの回収量 4,565 リットル 小中学校での新エネルギー教室 実施 住民を対象にした新エネルギー 講演会 10 月 9 日に実施	A

【地域環境の保全】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
森林整備事業（補助金）	町内の森林の保全として間伐を推進し、県の補助金に町で上乗せ補助を行い、健全な森林の保全を図る。	事業実施中。 （平成 17 年度実績 198ha）	B
森林整備地域活動支援交付金事業（補助金）	町内の各種団体に森林保全に対する規定の作業を実施したことに対して、10,000 円 / ha の補助をする。	事業実施中。 （平成 14 年～18 年までの事業）	B
緑化啓発苗木配布事業	緑化木の配布を行い町の環境の整備を推進する。	4 月実施。（あじさい、桜の木など苗木 44 万円分）	A
河川等の水質保全	町内の河川水質に関する定点観測を行う。	天竜川 2 か所、桑沢川、沢川、深沢川 3 か所、帯無川、下水路流末 4 か所、小河川 1 か所の計 13 か所の河川水質に関する定点観測実施中。	B

【環境教育（小中学校）】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
環境教育（公立小中学校等）	小中学校等での環境教育の推進	児童会 環境省エネ委員会 （省エネの呼びかけ） 不要な電気を消す 太陽熱で沸かした湯を清掃に利用する（冬） 花壇の水や清掃の水は雨水を利用する（春～夏） 充電式電池（エネループ）の活用 西小学校インクジェットプリンターインクボトル回収ボックスの作成など	B

【環境コミュニケーション】 【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
広報誌やインターネットホームページへの掲載	町広報誌への「環境サプリ」コラムの掲載。町ホームページにごみ等に関するページを引き続き掲載していく。	広報誌に環境サプリを掲載中	B
住民との連絡協力	廃棄物やエネルギー等に関する会議・行事等に対して回覧等を使用した広報活動を行う。	地球温暖化フォーラム参加などの呼びかけ	B

【エコアクション 2 1 イニシャティブ・プログラム】

【評価】 A...目標達成 B...取り組み途中 C...未着手

項目	平成 18 年度の目標	平成 18 年度上半期の進捗状況	評価
エコアクション 21 自治体イニシャティブ・プログラム	エコアクション 2 1 自治体イニシャティブ・プログラムを用い町内企業に取り組んでもらう。	11 社の参加希望社があったためエコアクション 2 1 中央事務局に申請し認められ 9 月 27 日キックオフ大会を実施。現在 12 社が参加し取組中。19 年 6 月頃認証取得を目指している。	B

(2) 環境管理責任者による評価と見直し

【問題点の指摘と是正処置及び予防処置】

【平成 17 年度実績】

項目	問題点	原因・理由	是正処置及び予防処置
印刷用紙使用量の増加	不要なコピー・印刷、裏紙活用の不足	啓発不足	朝礼時などにおける啓発掲示の再確認、再作成

【平成 18 年度上半期実績】

項目	問題点	原因・理由	是正処置及び予防処置
二酸化炭素排出量の増加	照明配置等の問題	組織変更等における配置変更により適正な照明配置が行われていない。	組織変更等があった際は、適正な照明配置か、再度見直しを行う。不要な照明やスイッチ等により改善できる点があれば対策をする。(内部監査時に確認)
	残業時の照明管理不徹底、定時退庁不徹底	チェックの未実施	環境委員(課長)による職員への助言、環境管理責任者や事務局による夜間パトロール(定期的を実施)
	無駄な点灯	始業時の不要な点灯確認未実施	始業時における不要な点灯の確認(総務課)
廃棄物排出量の増加	廃棄物排出量が施設ごと把握できていない。	廃棄物収集方法の問題、重量測定未実施	小中学校、保育園から出る生ごみの堆肥化リサイクルを 11 月から本格実施。廃棄物の大幅減量化を実現。 各施設の廃棄物重量測定実施(検討中)。
総排水量の削減	漏水の可能性	漏水点検未実施	漏水点検を行う。

(3) 町長による全体の評価と見直し

【平成 17 年度実績】

評価できる点	電気使用量や廃棄物排出量、総排水量については効果が出ている。この取り組みを継続してほしい。
見直すべき点	紙使用量が増加しているため改善を。

【平成 18 年度上半期実績】

評価できる点	紙使用量は平成 17 年の反省からか効果が出ている。この取り組みを継続するようにしてほしい。
見直すべき点	17 年度は全体的に取り組みの効果が出ているが、18 年度上半期は災害の関係のせいか、あまり効果が出ていない。下半期は職員の意識向上と取り組みの改善を図ってほしい。

5 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規への遵守状況は、平成 18 年 1 1 月にチェックリストにより確認し、その結果は第 7 表のとおりです。役場庁舎に関する法律違反、訴訟、環境に関する苦情はありませんでした。

法律違反、訴訟等の有無

内 容	結 果
法律違反の有無	無
訴訟の有無	無
環境に関する苦情の有無（役場庁舎）	無

環境関連法規等の遵守状況

番号	法令名		規制内容・業務等	遵守状況	備考
	法律	条例			
1	環境基本法		環境保全、公害防止 廃棄物の適正処置、環境負荷の低減		コピー用紙の裏紙使用など環境負荷の低減に努め、グリーン購入法対応商品をすすんで購入するなど再生資源等を利用し、環境保全に自らつとめている。
2	循環型社会形成推進法		製品の廃棄を抑制することで天然資源の消費を抑制し、環境への負荷を低減する		リサイクルトナーカートリッジの使用 ボールペンの替え芯使用 コピー用紙の裏紙使用など
3	浄化槽法		浄化槽の保守点検、清掃、水質検査の実施		浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃、水質検査を毎年1回実施 週1回の定期検査実施
4	水質汚濁防止法		特定事業場・貯油事業場の設置者は、油を含む水を排出した時、応急の措置を講ずるとともに、速やかにその事故の状況および講じた措置の概要を都道府県知事に届け出なければならない。		貯油施設(地下灯油タンク、廃油等)における緊急時の措置を定めている。
5	消防法		製造所・貯蔵所の管理者は、危険物(油)の流出および拡散の防止、流出した危険物の除去その他災害のための応急措置を講じなければならない。		防火管理者の設置 危険物管理者の設置
6	廃棄物の処理および清掃に関する法律		事業活動に伴って生じた廃棄物の適正処理と再生利用等を行うことによりその減量化を図る		廃棄物の適正な分別を行い、産業廃棄物については業者による適正な処理をしている。

番号	法令名		規制内容・業務等	遵守状況	備考
	法律	条例			
7	建築物における衛生的環境の確保に関する法律		建築物環境衛生管理基準に従って当該特定建築物の維持管理 建築物環境衛生管理技術者の選任		建築物衛生管理業務の業者への委託。 検査等の実施。
8	グリーン購入法		毎年度、環境物品等の調達を推進を図るための方針を作成するよう努める 環境物品等の調達を常に意識する		グリーン購入法適合商品の購入 環境に配慮した物品を購入するよう努める
9	地球温暖化対策推進法		自らの事業に関する温室効果ガスの排出の抑制等のための措置および住民、事業者への情報の提供等		温暖化防止のため温室効果ガス排出抑制の措置
10	騒音規制法				暖房施設用空気圧縮機の原動機出力7.5 Kw未滿 近隣住宅での騒音測定結果50db以下
		箕輪町公害防止条例			新たな機器を設置する際は町条例を参照して基準を満たしているか確認し、関係書類を提出する。

箕輪町役場エコアクション 2 1 実施体制

平成 17 年 1 月 31 日
平成 18 年 11 月 1 日一部改訂
環境管理責任者 桑沢昭一

エコアクション 2 1 ガイドラインの要求事項に沿って環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために以下のとおり役割・権限を定め、効果的な実施体制を構築し周知します。

【役割・権限】

町長...環境管理統括者

環境管理責任者を任命します。

環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・物資）を準備します。

環境経営に関する基本理念・基本方針を制定し、環境目標および環境活動計画を承認します。

全体の取組状況を評価し、全般的な見直しを実施し、必要な指示を行います。

助役...環境管理責任者

環境目標および環境活動計画の確認と、環境管理統括者への提出を行います。

ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築・運用し、その状況を環境管理統括者に報告します。

環境委員、環境補佐員を任命します。

環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を、定期的に確認・評価します。

環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認します。

環境目標の達成及び環境活動計画の実施状況に問題がある場合は、是正処置を行い、必要に応じて予防処置を実施します。

課長...環境委員

管理範囲内の進捗状況の報告を行います。

自己の管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用および管理に責務を負い、必要な教育訓練、パフォーマンスの向上を図ります。

各課係長（1名）...環境補佐員

環境委員とともに、管理範囲内において、全員参画による環境経営システムの運用および管理に責務を負い、必要な教育訓練、パフォーマンスの向上を図ります。

環境管理事務局...総務係、生活環境係

環境管理責任者の補佐を行います

エコアクション 2 1 関連書類の原案を作成し保管します。

【実施手順】

環境委員(各課課長)、環境補佐員(各課係長 1 名)は

- ・ 毎月、環境改善計画書兼進捗管理表、取組チェック 15、月末チェックの取りまとめを行い、環境管理事務局へ提出します。
- ・ 朝礼時(月 1 回を目安)課員に対して取組の呼びかけをし、環境教育を行います。

環境管理事務局は

- ・ 環境委員から提出された各種資料のとりまとめを行います。

環境管理責任者(助役)は

- ・ エコアクション 2 1 環境委員会を開催。上半期終了時と年度終了時に取組状況の定期的な確認・評価を行います。
- ・ 取組、実施状況に問題がある場合、是正処置と必要に応じて予防処置を行います。
- ・ 年 1 回緊急時の訓練、環境関連法規の見直しを実施します。

環境管理統括者(町長)は

- ・ 年度終了後、全体の取組状況の評価を行います。
- ・ 年度終了後、取組状況全般への見直し実施と指示を行います。

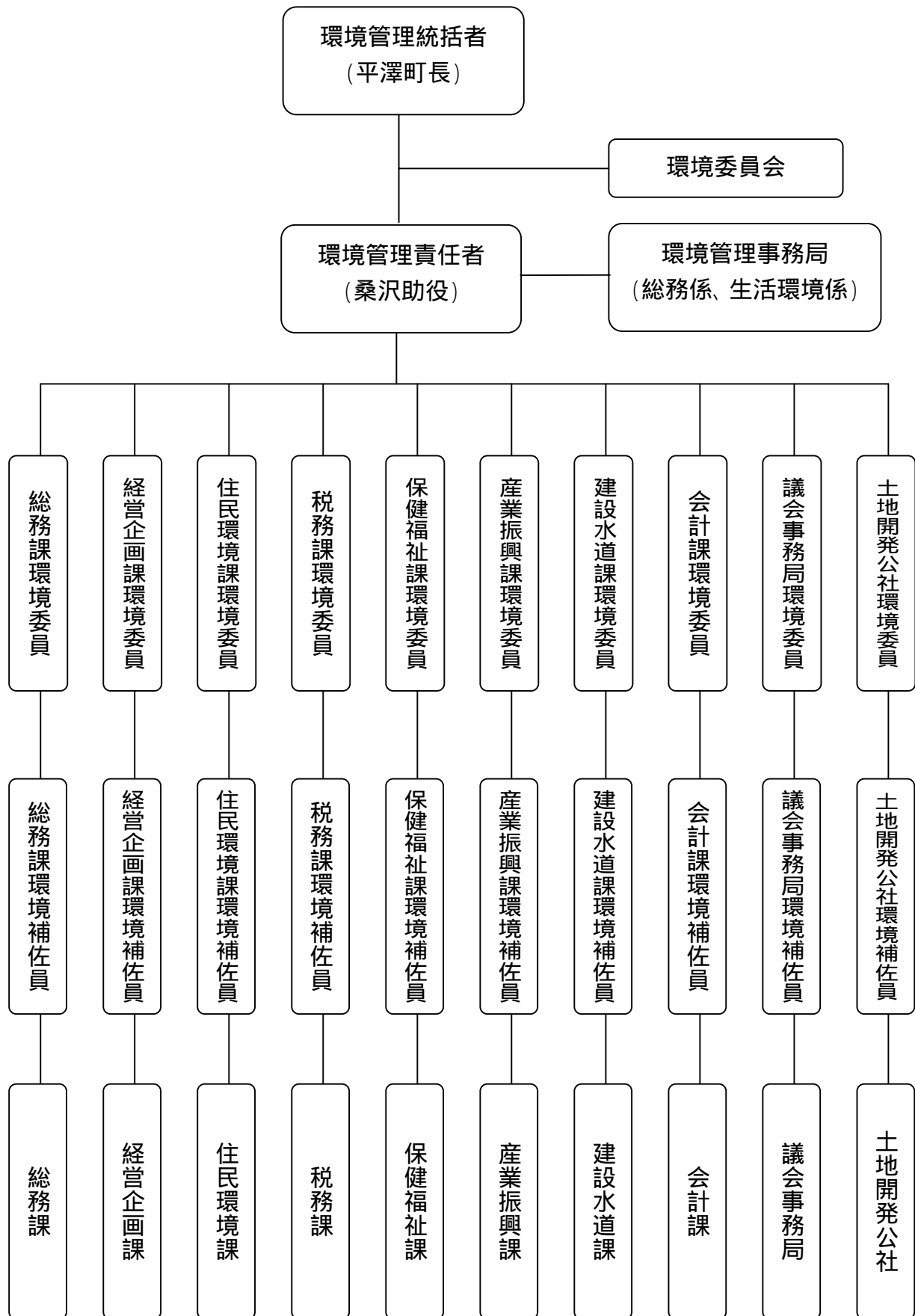
環境管理事務局は

- ・ 環境活動レポートを作成し、ホームページ等で公開します。

【スケジュール】

	環境管理統括者 (町長)	環境管理責任者 (助役)	環境管理事務局	環境委員、環境補佐員 (各課課長 各課係長 1 名)
4 月			各種資料まとめ	提出資料作成
5 月			各種資料まとめ	毎月
6 月			各種資料まとめ	
7 月			各種資料まとめ	
8 月			各種資料まとめ	
9 月			各種資料まとめ	
10 月		取組状況の定期的な確認・評価	各種資料まとめ 上半期資料作成	
11 月			各種資料まとめ	
12 月			各種資料まとめ	
1 月			各種資料まとめ	
2 月			各種資料まとめ	
3 月			各種資料まとめ	
4 月	取組状況の評価 取組状況全般への見直し実施と指示	取組状況の定期的な確認・評価	各種資料まとめ 下半期資料作成 年度資料作成	

箕輪町役場エコアクション2.1組織図



環境上の緊急事態の想定結果及びその対応策

平成 17 年 4 月 4 日
平成 18 年 11 月 1 日一部改訂
環境管理責任者 桑沢昭一

1. 施設名 箕輪町役場庁舎 給油パイプ

2. 想定される環境影響内容

地震等により給油パイプが破損、灯油が漏れ出すことによる土壌汚染、悪臭、水質汚濁。

3. 対応策

日常的な対応策

- ・ 吸着マット等を配備し、緊急事態にすぐ対応できるようにする。

事故発生時の対応策

- ・ 給油パイプからの灯油の漏れを確認したら第一発見者は総務課総務係または宿日直へ連絡する。宿日直は総務係職員へ連絡する。
- ・ 給油設備のバルブを閉め、業者へ連絡する。
- ・ 漏れ出した灯油については吸着マット、中和剤などを利用し土壌汚染が拡大しないよう対策をする。
- ・ 規模が大きく役場職員だけで対応できない場合は消防署・警察へ通報する。近隣住民の避難を呼びかける。

事後対応策

- ・ 灯油回収の際に使用した吸着マットは適切に処理をする。
- ・ 漏れ出した灯油について油回収業者に再処理を依頼する。

環境上の緊急時訓練結果

1. 訓練日 平成 18 年 11 月 7 日（火）午後 4 時から

2. 訓練場所 役場更衣室西側暖房用オイルパイプ付近

3. 参加人員 15 名（環境委員またはその代理）

4. 訓練内容

午後 4 時、長野県南部に震度 7 の地震が発生。役場庁舎暖房用オイルパイプが破損し、灯油が漏れ出したことを想定し、油吸着訓練を行う。

【油吸着訓練】

- ・ 吸着マットの設置してある場所（宿直室）を確認。
- ・ オイル漏れが起きた場所を想定して吸着マットの設置訓練を行う。

平成18年度上半期エコアクションデータ(環境改善計画書兼進捗管理書)

役場総合

環境目標	具体的取組									排出量(kg-CO2)
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
1. 二酸化炭素排出量削減	1.1不在・退庁時のOA機器の停止	目標値(電気使用量:kwh)	23,969.8	16,772.7	16,139.6	16,808.0	18,872.8	18,097.7	110,660.6	41,829.7
		実績値	26,391.0	18,422.0	17,046.0	17,744.0	21,707.0	20,329.0	121,639.0	45,979.5
	1.2エアコン温度・運転の適正管理	目標値(ガソリン使用量:l)	2,521.5	2,366.7	2,665.6	2,767.9	3,052.8	2,126.9	15,501.5	35,989.2
		実績値	2,283.0	2,424.5	2,471.9	3,260.8	2,495.2	2,547.5	15,482.9	35,946.1
	1.3休憩、退庁時の消灯徹底	目標値(灯油使用量:l)	1,960.0	0.0	0.0	0.0	3,920.0	0.0	5,880.0	14,652.5
		実績値	4,500.0	0.0	4,000.0	0.0	0.0	0.0	8,500.0	21,181.4
	1.4NO残業Dayの徹底	目標値(軽油使用量:l)	92.1	515.3	1,215.5	632.8	492.6	701.6	3,649.9	9,467.0
		実績値	203.4	203.9	1,079.0	737.9	753.9	681.1	3,659.1	9,491.0
	1.5電気・燃料使用状況の把握および管理	目標値(LPG使用量:kg)	123.5	28.4	19.6	70.6	26.5	50.0	318.5	956.1
		実績値	96.0	59.0	16.0	21.0	28.0	66.0	286.0	858.6
二酸化炭素排出量を前年比2%削減	1.6公用車の使用状況の把握および管理	目標値(走行距離:km)	26,486.5	28,434.7	36,345.3	34,360.8	29,872.4	27,909.4	183,409.0	102,894.7
		実績値	28,980.0	30,456.0	37,232.0	34,944.0	31,676.0	30,710.0	193,998.0	113,456.6
	達成度	105%	110%	109%	85%	109%	88%	100%	100%	
	適合性評価	A	A	A	C	A	C	A	A	
排出量合計									113,456.6	
2. 廃棄物削減	2.1消耗品の適正管理	目標値(t)	9.1	7.7	7.4	6.9	5.6	6.4	43.1	
		実績値	11.5	10.8	11.5	9.2	7.3	6.7	57.0	
	2.2廃棄物・資源物の分別徹底	達成度	79%	71%	65%	74%	77%	95%	76%	
		適合性評価	C	C	C	C	C	B	C	
2.3廃棄物の再利用(再資源化の推進)	目標値(m3)	/	233.2	/	266.6	/	214.6	714.4		
	実績値	/	238.0	/	245.0	/	246.0	729.0		
2.4廃棄物排出量の把握および管理	達成度	/	98%	/	109%	/	87%	98%		
	適合性評価	/	B	/	A	/	C	B		
3. 総排水量	3.1公用車の洗車方法の見直し	目標値(kg)	205.8	1,543.5	503.2	947.4	958.1	969.4	5,127.5	
		実績値	813.0	778.6	891.8	829.3	693.9	723.8	4,730.3	
	3.2漏水状況の定期的な確認	達成度	25%	198%	56%	114%	138%	134%	108%	
		適合性評価	C	A	C	A	A	A	A	
3.3庁舎排水量の把握および管理	目標値(kg)	205.8	1,543.5	503.2	947.4	958.1	969.4	5,127.5		
	実績値	813.0	778.6	891.8	829.3	693.9	723.8	4,730.3		
総排水量を前年比2%削減	達成度	25%	198%	56%	114%	138%	134%	108%		
	適合性評価	C	A	C	A	A	A	A		
4. 印刷用紙量	4.1両面コピーの活用	目標値(kg)	205.8	1,543.5	503.2	947.4	958.1	969.4	5,127.5	
		実績値	813.0	778.6	891.8	829.3	693.9	723.8	4,730.3	
	4.2裏面の再使用	達成度	25%	198%	56%	114%	138%	134%	108%	
		適合性評価	C	A	C	A	A	A	A	
4.3パソコン・電子メールの活用	目標値(kg)	205.8	1,543.5	503.2	947.4	958.1	969.4	5,127.5		
	実績値	813.0	778.6	891.8	829.3	693.9	723.8	4,730.3		
印刷用紙購入量を前年比2%削減	達成度	25%	198%	56%	114%	138%	134%	108%		
	適合性評価	C	A	C	A	A	A	A		

平成17年度エコアクションデータ(環境改善計画書兼進捗管理書)

役場総合

環境目標	具体的取組														合計	排出量(kg-CO2)
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1. 二酸化炭素排出量削減	1.1不在・退庁時のOA機器の停止	目標値(電気使用量:kwh)	24,599.0	16,096.5	16,924.6	19,300.1	20,947.5	18,284.8	16,226.8	18,244.7	21,020.0	22,440.0	26,172.9	24,950.8	245,207.8	92,688.5
	1.2エアコン温度・運転の適正管理	実績値	24,459.0	17,115.0	16,469.0	17,151.0	19,258.0	18,467.0	15,741.0	17,115.0	23,256.0	24,535.0	27,463.0	25,580.0	246,609.0	93,218.2
	1.3休憩・退庁時の消灯徹底	目標値(ガソリン使用量:l)	2,254.3	2,139.0	2,402.5	2,821.2	2,435.0	2,327.5	2,873.5	2,399.9	2,662.1	1,750.3	2,088.2	1,806.0	27,959.5	64,912.5
	1.4NO残業Dayの徹底	実績値	2,573.0	2,415.1	2,720.1	2,824.3	3,115.1	2,170.3	2,963.4	2,141.8	2,925.9	1,882.7	2,533.8	2,164.8	30,430.2	70,648.6
	1.5電気・燃料使用状況の把握および管理	目標値(灯油使用量:l)	0.0	0.0	4,118.9	0.0	3,920.0	0.0	1,999.2	39.2	0.0	5,880.0	5,880.0	3,939.6	25,776.9	64,234.3
	1.6公用車の使用状況の把握および管理	実績値	2,000.0	0.0	0.0	0.0	4,000.0	0.0	0.0	4,000.0	4,394.0	0.0	8,000.0	1,500.0	23,894.0	59,542.2
		目標値(軽油使用量:l)	554.0	1,029.8	1,147.3	976.1	633.4	1,108.3	788.2	620.0	541.8	595.9	782.7	393.6	9,171.3	23,788.2
		実績値	215.4	628.1	1,311.5	704.5	575.9	819.7	1,153.5	917.9	766.7	220.6	896.2	432.1	8,641.9	22,415.3
		目標値(LPG使用量:kg)	143.1	53.9	19.6	68.6	86.2	60.8	39.2	20.6	50.0	97.0	150.9	120.5	910.4	2,733.0
	二酸化炭素排出量を前年比2%削減	実績値	126.0	29.0	20.0	72.0	27.0	51.0	38.0	15.0	75.0	116.0	112.0	101.0	782.0	2,347.5
目標値(走行距離:km)		27,176.4	27,600.8	32,783.8	33,117.7	29,650.9	29,226.5	36,558.1	32,110.7	27,048.8	24,552.9	25,371.3	24,045.7	349,243.5	248,356.6	
実績値		27,027.0	29,015.0	37,087.0	35,062.0	30,482.0	28,479.0	35,663.0	30,001.0	29,856.0	25,717.0	33,717.0	31,406.0	373,512.0	248,171.8	
達成度		101%	104%	88%	108%	83%	115%	89%	99%	87%	112%	84%	85%	95%	95%	
適合性評価		A	A	C	A	C	A	C	B	C	A	C	C	B	B	
2. 廃棄物削減	2.1消耗品の適正管理	目標値(t)	11.8	6.8	11.4	10.3	7.5	10.5	13.5	13.6	15.5	12.6	11.6	18.8	144.0	
	2.2廃棄物・資源物の分別徹底	実績値	9.3	7.9	7.6	7.0	5.7	6.5	6.0	8.9	11.4	6.1	8.0	15.9	100.3	
廃棄物排出量を前年比2%削減	2.3廃棄物の再利用(再資源化の推進)	達成度	127%	86%	150%	148%	132%	161%	225%	153%	136%	206%	145%	118%	144%	
	2.4廃棄物排出量の把握および管理	適合性評価	A	C	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	
3. 総排水量	3.1公用車の洗車方法の見直し	目標値(m3)	/	207.8	/	284.2	/	262.6	/	231.3	/	222.5	/	272.4	1,480.8	
	3.2漏水状況の定期的な確認	実績値	/	238.0	/	272.0	/	219.0	/	240.0	/	213.0	/	230.0	1,412.0	
総排水量を前年比2%削減	3.3庁舎排水量の把握および管理	達成度	/	87%	/	104%	/	120%	/	96%	/	104%	/	118%	105%	
		適合性評価	/	C	/	A	/	A	/	B	/	A	/	A	A	
4. 印刷用紙量	4.1両面コピーの活用	目標値(kg)	690.2	766.1	1,029.0	865.8	823.2	411.6	687.0	896.0	1,101.8	762.9	892.8	308.7	9,235.0	
	4.2裏面の再使用	実績値	210.0	1,575.0	513.5	966.8	977.7	989.2	1,118.1	1,080.9	1,629.0	525.0	1,039.0	1,587.0	12,211.1	
印刷用紙購入量を前年比2%削減	4.3パソコン・電子メールの活用	達成度	329%	49%	200%	90%	84%	42%	61%	83%	68%	145%	86%	19%	76%	
		適合性評価	A	C	A	C	C	C	C	C	C	A	C	C	C	